

会議結果のお知らせ

令和5年度第2回地方卸売市場宮古市魚市場運営委員会を次のとおり開催しました。

令和5年11月20日

地方卸売市場宮古市魚市場運営委員会

1. 開催日時

令和5年10月31日（火）午前9時55分から午前10時20分

2. 開催場所

宮古市魚市場第2会議室

3. 会議の概要

- (1) 宮古市魚市場の水揚状況について
- (2) 宮古市魚市場の維持管理状況について
- (3) 水揚増大の取り組み推進について

4. 問い合わせ先

宮古市産業振興部水産課水産振興係 電話 0193-62-2111

令和5年度第2回地方卸売市場宮古市魚市場運営委員会会議録

1 日時

令和5年10月31日（火）午前9時55分から午前10時20分

2 場所

宮古市魚市場第2会議室

3 出席者

委員：大井誠治委員、佐々木公一委員、山崎義広委員、金澤俊明委員、島香尚委員、徳江信春委員、須藤一保委員、山本裕委員、花坂康太郎委員、小笠原信子委員、大濱晴美委員

事務局：山本市長、岩間産業振興部長、田代水産課長、中野水産振興係長、山田主任

4 開催概要

(1) あいさつ

発言者	内容及び発言要旨
市長	<p>本日はお忙しい中、令和5年度第2回宮古市魚市場運営委員会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>また、日頃より宮古市魚市場の運営並びに本市水産行政にご協力を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>最近の水揚状況を見ますと、9月はスルメイカが好調で、9月の水揚金額はここ10年で最も多く、11億5千万円となっております。</p> <p>サンマは、三陸近海へ3年ぶりに漁場が形成される明るい兆しがあったものの、数量は依然として低迷が続いております。</p> <p>同じく、サケ、タラについても、不漁が続いております。</p> <p>今後の漁の好転を期待するところでございます。</p> <p>本日は、9月までの水揚状況や、施設の維持管理状況、水揚げ増大の取り組みについて、ご報告いたします。</p> <p>宮古市魚市場が将来に渡り安定的に運営できるよう、忌憚のないご意見をいただければと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

(2) 議事

経過・発言者	内容及び発言要旨
	<p>(1) 宮古市魚市場の水揚状況について (2) 宮古市魚市場の維持管理状況について (3) 水揚増大の取り組み推進について</p>
委員長	<p>それでは議事に入ります。(1) 宮古市魚市場の水揚状況についてから、(3) 水揚増大の取り組み推進について、一括して事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料により説明)</p>
委員長	<p>ただいまの説明についてご質問、ご意見がありましたらご発言願います。</p>
委員	<p>久慈地域の鱈延縄漁船の方と話をした。海水温が高くタラ漁に出ても経費を回収できないため、タコかご漁にシフトしているとのことであった。 漁に出る方々は自身で水温等の情報を把握しているものと思うが、魚市場でも海水温のデータを掲示していただきたい。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。宮古漁協と協議しまして、情報提供を行う仕組みを作りたいと考えております。</p>
委員	<p>関連して、沖合底曳網漁船では、海水温に関する情報は釜石の無線局がまとめたものを週に1-2回程度提供いただいている。そのルートから魚市場が情報を入手することも可能と思う。</p>
委員長	<p>浜は非常に厳しい状況にある。原因は温暖化による海水温の上昇にあると考えている。宮古市魚市場にとって主要な魚種が南下できずに足止めされている。海水温の情報を提供していただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>(意見等なし) 無いようですので、以上をもちまして地方卸売市場宮古市魚市場運営委員会を終了します。ありがとうございました。</p>